

C-6-5 環境（河川汚染・検査）

意見書 No	内 容
11-3	有害物質を含んだ汚水が発生し、近隣の川湖に流れ込み農作物及び川や浜名湖の魚介類にまで害を及ぼすことは明々白々であること。 浸出水は水処理施設で適切に処理され放流されます。放流水は法律で規制されている基準よりも厳しい値を採用しており、神宮寺川の水質は国が定めた「人の健康の保護に関する環境基準」を全て満たすことができます。そのため、人体に害が生じることは無いと考えております。 農業への影響については、水稻を対象とした農業用水基準が守られることで回避できると考えています。水質の予測では現況河川の全窒素濃度が高いため、農業用水基準を満たすことが難しい可能性が示唆されましたが、処理水の有機体窒素を管理することで農業への影響がない水質になることを千葉県の農林技術研究所の研究より確認しました。 また、浜名湖の魚介類に与える影響については、処理施設から放流水の浜名湖への流入口となる都田川落合橋まで、有害物質がまったく減衰しない（自然浄化をゼロとした）という厳しい条件による予測においても、落合橋においては有害物質の濃度が上昇することはほとんどないことから、影響はないと考えております。
108-1	P2 汚染水がいったん流れ出してしまうと、神宮寺川～浜名湖の地下水汚染、水産物の販売、観光産業にまで重大な影響を与えてしまう事を承知しているか。 今回の施設においては、生活環境影響調査にも御座いますように、処理水を放流する神宮寺川と背山川合流地点より約 500m 下流の花見橋においても環境基準を満たすとあり、環境に及ぼす影響は現況より大きくなることは無いとの評価報告がされております。当然、浜名湖ないし浜名湖の漁業に影響はないものと考えております。 また今回の計画では、シートとベントナイト混合土を組み合わせ、ベントナイト混合土の透水係数を 10^{-7}cm/s（※1）とする考え方は欧州諸国で採用されている標準型であり（日本の基準では透水係数 10^{-6}cm/s（※2））、最初からリスクを想定したものとなっています。シートについては、処分場専用が開発・販売されているもので、品質管理、接合方法、検査方法が確立されているため確実に施工されます。シートの接合も接着剤ではなくシートとシートを機械施工で熱融着（鉄板でいうところの溶接）する方式なので、接合部も高い信頼性があります。また接合部は施工後に検査をします。地元住民の皆様にはシート施工時の見学や検査への立会いもできるように計画します。 シートの劣化は太陽光線による紫外線劣化が大きな影響原因ですが、今回の計画ではシートは保護土で覆われ外力とともに太陽光からも守られます。このため、メーカーの出す耐候性データ（40～50 年）よりも遙かに長持ちします。埋立期間とその後の安定化に要する期間はシートが必要な機能を十分に維持できると考えられます。メーカーの試験は最悪の条件を想定して行われたものであり、現実にはそれ以上の期間も十分に遮水力を維持でき、また、ベントナイトは天然鉱物であり永久に劣化・変質せず、遮水性能は恒久的といえます。

	単純にシートとベントナイト混合土との二重構造にしているのではなく、異なる材質を組み合わせて相乗効果による最大の安全を追及して相互にバックアップ、フェイルセーフ(例えば航空機が片方のエンジンだけでも飛行できるようにする設計思想)の考え方による遮水構造としています。 従いまして、浸出水がそのまま場外に出ることはありません。 ※1 透水係数 10^{-7}cm/s とは、50 センチの層を通過するのに要する透過時間が約 15.8 年 ※2 透水係数 10^{-6}cm/s とは、50 センチの層を通過するのに要する透過時間が約 1.6 年
110-3	3：何故、河川の最上流部に設置するのか？ イ：水質汚染等の公害が発生すれば、神宮寺川、都田川流域は勿論、浜名湖の今切口までの広域環境破壊となる。 汚水は浸出水処理施設で適切に処理され放流されます。放流水は法律で規制されている基準よりも厳しい値を採用しており、神宮寺川の水質は環境省が定めた「人の健康の保護に関する環境基準」を全て満たすことができます。そのため、人体に害が生じることは無いと考えております。 農業への影響については、水稻を対象とした農業用水基準を遵守することで回避できると考えています。水質の予測では現況河川の全窒素濃度が高いため、農業用水基準を満たすことが難しい可能性が示唆されましたが、処理水の有機体窒素を管理することで農業への影響がない水質になることを千葉県農林技術研究所の研究より確認しました。 また、浜名湖の魚介類に与える影響については、処理施設から放流水の浜名湖への流入口となる都田川落合橋まで、有害物質がまったく減衰しない(自然浄化をゼロとした)という厳しい条件による予測においても、落合橋においては有害物質の濃度が上昇することはほとんどないことから、影響はないと考えております。 従いまして、河川の上流部に設置しても問題が発生することはないと考えております。